

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は2月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

台風第19号における防災行政無線について

正和会
杉山 行男 議員



質問 防災行政無線が聞こえなかった、エコーになって内容がわからなかった等の意見が出ているが、現状と対応を伺う。

市長 放送内容に関する問い合わせは、市にも多数寄せられた。50カ所のスピーカーを使って最大音量で放送し、広報車でも同様の周知を行ったが、それでも激しい風雨で聞き取りにくいと思われる。今後は、防

災行政無線音声確認ダイヤルやふっさ情報メールなどの代替手段の事前周知のほか、戸別受信機の貸し出しなどを考えている。

台風第19号における避難所の対応について

質問 避難所運営マニュアルの活用、運営に当たった職員の対応、災害対策本部との連携、受け入れ可能人数の適切性について伺う。

市長 避難所運営マニュアルに記載する開設マニュアルや避難者カードを使用して対応した。また、職員が物資の提供などを行い、保健師が避難所を巡回するなど、おおむねよい評価をいただいた。連携は、災対本部と行っただけでなく、避難所間の情報共有も図った。また、避難所は段階的に開設し、全ての避難者を受け入れることができた。



▲台風第19号の避難所の様子(第二小学校)

通学道路の改良工事の進捗状況等について

自民党福生
町田 成司 議員



質問 福生第三小学校北側交差点付近の道路改善計画の進捗状況と、同交差点に接続する牛浜北通りの改修工事の現況について伺う。

市長 牛浜北通りの舗装補修工事は、令和元年度から3年度に、3工区に分けて行う。当該交差点付近は令和3年度の工事を予定している。

都市建設部長 交差点西側の市道第1042号線のカーブ部分は、見通し

が悪いので、本交差点改良工事に合わせて、地権者に協力をいただき、現道路を拡幅して、視認性の改善及び安全性の向上を図っていく。

市が管理するエレベーター、エスカレーターの保守契約について

質問 平成30年度は設置メーカーの保守会社が約2,500万円で保守を行っているが、保守専門業者に委託すれば約4割、1,000万円程度コス

トカットできるのではないかと。

総務部長 現在、安全性を重視して、全て設置メーカーの保守会社が保守を行っている。全てのメーカーのメンテナンスを行う独立系の保守業者に委託すれば経費は節減できるが、特にエレベーターは人命にかかわる機械であり、安全性に責任を持つ市の立場としては、現在の契約方法を継続していきたい。



▲改良工事を予定している第三小学校北側交差点付近

指定管理者制度における事業者の公募、選定について

正和会
武藤 政義 議員



質問 公募・選定は、大規模な事業者、団体が優位で、小規模な長所を持つ団体は不利なのではないかと懸念されるが、所見を伺う。

市長 指定管理者の公募に当たっては、募集要項で応募者の資格を定め、サービス向上や経費縮減が図られるか、事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産等を有するか、または確保できる見込みがある

かなど条例に定めた選定基準により審査している。団体の規模の大小に限らず、適正な管理運営が図れるかという視点で選定している。

令和2年度からの民間委託化後の学校給食センターの運用について

質問 学校給食センター運営審議会の今後の役割、福生らしさを活かした献立、成人式での「なつかしの給食コーナー」の継続について伺う。

教育部長 学校給食センター運営審議会は、年に1回程度、必要に応じての開催になると考えている。福生らしさを活かした献立については、市の栄養士による献立の立案、食材の選定等、調理以外の工程は現行と変わらない。今後も福生らしい献立を継続、発展させていく。成人式での「なつかしの給食コーナー」は、今後も継続して実施していきたい。



▲学校給食センターの配送風景

認知症予防に向けた脳と身体機能を活性させる運動について

公明党
原田 剛 議員



質問 計算やしりとりなどの認知機能のトレーニングと運動を組み合わせを行い、脳と身体機能を同時に活性化させるコグニサイズと呼ばれる取り組みについて、所見を伺う。

市長 運動と脳トレを組み合わせた活動は認知症予防に効果があると言われ、当市では脳トレの要素を随所に取り入れたオリジナルの「ふくふく福生体操」を制作し、介護予防

リーダーを中心に周知と普及を図っている。健康運動指導士による脳と体のトレーニング教室なども実施しており、今後も有効な方法等を取り入れ、認知症予防に取り組んでいく。

生活困窮者の就労訓練事業について

質問 この事業は、就労に困難を抱える生活困窮者に状況に応じた就労機会を提供し、生活面や健康面で支援を行うものである。こうした事

業により就労につなげていくことは重要だと考えるが、所見を伺う。

市長 心身の不調や長期間の離職などによりすぐに就労することが困難な方に、認定就労訓練事業を案内している。令和元年度の利用者は3人で、相談支援員が月1回、本人と事業所担当者との面談に同席し、状況の把握に努めるなど、本人に寄り添った支援を心がけている。



▲ふくふく福生体操のイベントの様子